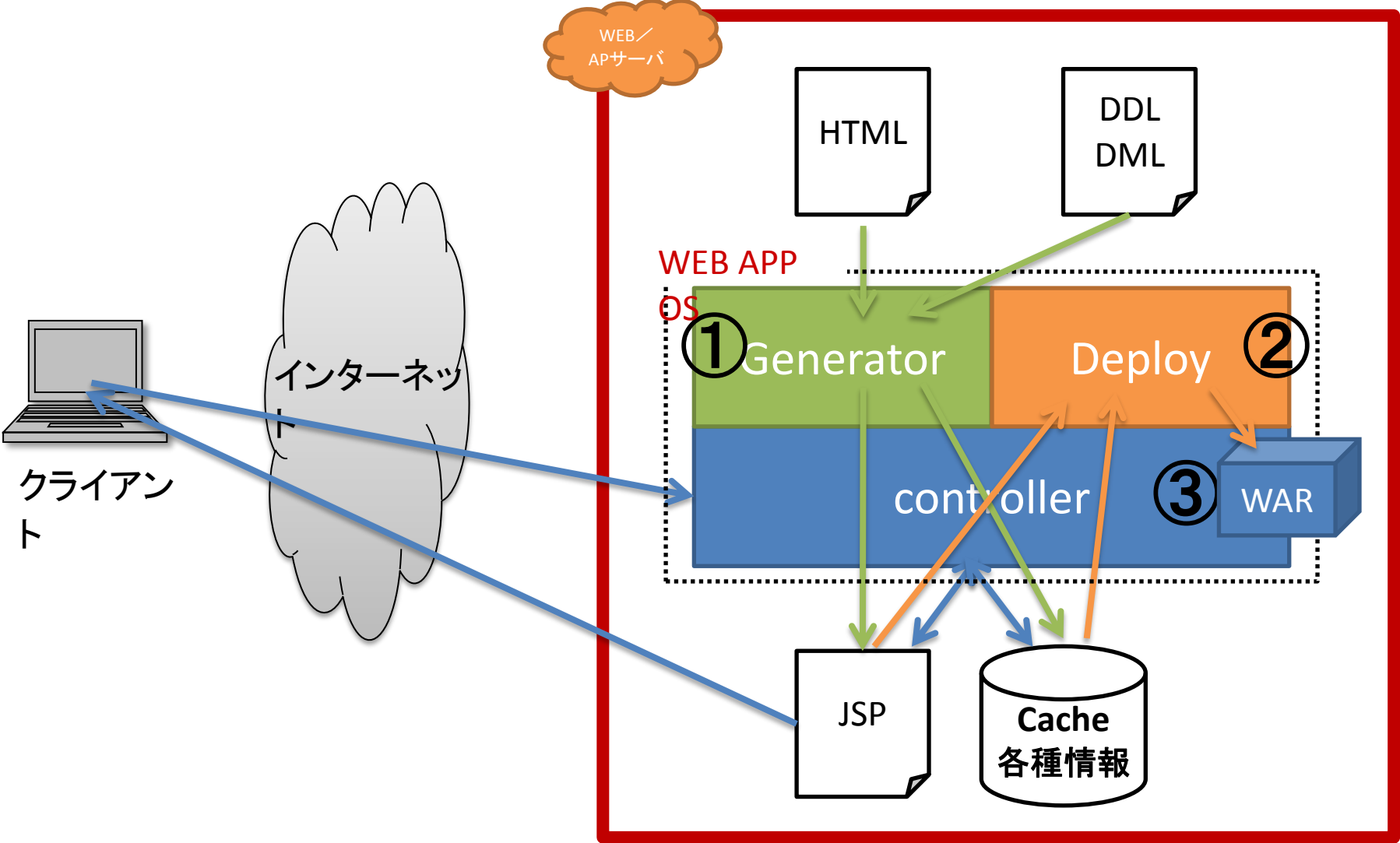


WEB APP OS 機能概念図



WEB APP OS 機能一覧

ver:2014/4/16

Controller							
機能名		機能概要		α 版	β 版	リリース版	備考
アクセス制御							
リクエスト/レスポンス制御		クライアントからのリクエストを受け取り、リクエストに応じた処理を実行後、処理結果を戻します。		○	○	○	
ログイン認証機能		ログインが必要なページと不必要なページを定義でき、ログインが必要なページに見ログイン状態でアクセスした場合、ログインページを表示します。			○	○	
ブックマークログイン		ログイン認証が必要なページのブックマークからアクセスされた場合、ログインページへリダイレクトさせます。また、ログイン後に当初アクセスした画面にアクセスします。			○	○	
ユーザ権限制御		ユーザの権限によってアクセス可能なページ、操作を制御する機能です。				▲	ver.1.1.0にて対応予定
画面表示							
一覧表示機能		データベースから指定した条件で情報を取得し、一覧表示する機能です。 ページャーを表示することも可能です。		○	○	○	
詳細表示機能		データベースから指定した条件で単一の情報を取得し、表示する機能です。 情報を表示する際、書式設定を行うことが可能です。		○	○	○	
登録機能		データベースに値を登録する機能です。		○	○	○	
更新機能		データベースの値を更新する機能です。		○	○	○	
削除機能		データベースの値を削除する機能です。		○	○	○	
画像最適化		HTMLのimgタグにおいて、指定されたサイズ (height, width) でsrcの画像を拡張します。画面サイズに最適なサイズに縮小して表示することで、大きなサイズの画像をHTMLに指定した場合でもレスポンスのデータ量が削減され、ページ表示のパフォーマンスが向上します。			○	○	
リソースブラウザキャッシュ対策		javascriptやcssのファイルを修正した際、ブラウザによってはキャッシュが有効となり修正が反映されないことがあります。 この問題に対応する為、WEB APP OSでは、ファイル名にクエリ・ストリングを自動で付与することでブラウザのキャッシュが読み込まれないようにします。			○	○	
ローカライズ(多言語化)		画面に表示するメッセージやラベルを指定されたロケールに切り替えることが出来ます。				▲	
クライアント連携							
フォーム自動生成		HTMLのセレクトボックスやチェックボックスにデータベースの値を表示することができます。				▲	
RESTful API機能		クライアントサイドの非同期通信 (Ajax機能) に対応する為、データベースの操作 (取得、登録、更新、削除) をAPIを介して行うことができます。 APIは、XML形式でレスポンスを返却します。			○	○	
メール							
固定アドレス送信		指定されたメールアドレスへメールを送信します。 to, cc, bccにそれぞれ複数のアドレスを指定することが可能です。 メール本文は、FreeMarkerのテンプレートに記述します。		○	○	○	
可変アドレス送信		データベースに定義されたメールアドレスへメールを送信します。 メール本文は、FreeMarkerのテンプレートに記述します。		○	○	○	
ファイル							
ファイルアップロード		ファイルをサーバへアップロードする機能です。 アップロード先は、設定により変更できます。			○	○	
ファイルダウンロード		サーバ上のファイルをダウンロードする機能です。				▲	
CSV取り込み機能		CSVファイルの内容をデータベースに登録する機能です。				▲	
セキュリティ							
バリデーション機能		必須、文字種、範囲、重複チェックなどのバリデーションを行う機能です。 バリデーションは、クライアント/サーバサイドのそれぞれで行います。				▲	
暗号化機能		データベースへの問い合わせ/登録/更新の際、任意の項目を暗号化します。			○	○	
トランザクショントークン(多重処理防止)		画面遷移の順序性の確認や サブミットボタンの二度押し(重複サブミット)を防止する機能です。			○	○	
HTTPS(SSL) 対応		SSLアクセスが可能です。 SSL、非SSLアクセスページをそれぞれ定義することができます。		-	-	-	Apacheにて対応
SQLインジェクション対応		外部から入力された値を適切にエスケープすることで、データベースに対する外部からの不正アクセスを防止します。			○	○	
クロスサイトスクリプティング対応		外部から入力されたHTMLタグやスクリプトを構成するメタ文字を適切にエスケープすることで、Webページ改ざんや意図しないスクリプトの実行を防止します。			○	○	
クロスサイトリクエストフォージェリ対応		トランザクショントークンを使用することで、正常なリクエストであるか確認します。			○	○	
コマンドインジェクション対応		ブラウザ経由でのOSコマンドの実行を防止します。				○	

WEB APP OS 機能一覧

ver:2014/4/16

	ディレクトリトラバーサル対応	URLに相対パスを指定したリクエストを受けた際に、本来アクセスされるべきでない階層へのアクセスを許可しないようにします。		○	○	
	Httpヘッダインジェクション対応	-	-	-	-	HTTPレスポンス・ヘッダーをアプリケーションから出力する処理を想定していない為、対応なし
	メールヘッダインジェクション対応	-	-	-	-	メールヘッダーに入力値を使用する想定がない為、対応なし
	セッションハイジャック対応	セッションIDの漏えいを防ぎ、また、セッションIDを定期的に変更することでユーザのなりすましに対応します。		○	○	
SEO対策						
	URLルーティング	SEOを有利にする為にURL動的な値を含ませず、静的なページのURLに見せかけることで、検索エンジンにインデックスされやすくします。		○	○	
SNS連携						
	Twitter連携	Twitter上のリソースの取得や投稿などのTwitter連携を行います。 (OAuth認証)		○	○	
	Facebook連携	Facebook上のリソースの取得や投稿などのTwitter連携を行います。 (OAuth認証)		○	○	
外部システム連携						
	全文検索	Webサイトが保持する文書集合からユーザが検索した結果を表示します。			▲	
	サーバREST(API連携)	外部Webサービスを利用する機能です。 利用可能なAPIは選定中です。			▲	

Generator					
機能名	機能概要	α 版	β 版	リリース版	備考
HTML変換	WebAppOS独自属性が埋め込まれたHTMLを読み込み、動的なWebアプリケーションとして動作する形式に変換する機能です。	○	○	○	
データベース構築	データ構造を定義したDDLや初期登録データが記述されたDMLを元にアプリケーションのデータベースを構築します。			▲	データベース自体の作成は、AWSインスタンス起動時に手動で行う。
Web/APサーバ環境ファイル生成	Webサーバ、APサーバの設定ファイルを自動で設定する機能です。			▲	

Deploy					
機能名	機能概要	α 版	β 版	リリース版	備考
アプリケーションのセットアップ	Generator機能呼び出しアプリケーションに必要な各種ファイルを生成した後、Web/APサーバの起動等を行い、Webアプリケーションにアクセス可能な状態にします。			○	
自動更新機能	所定のディレクトリにHTMLおよびDDLが配置された場合、アプリケーションを自動で再構築する機能です。			▲	自動更新機能は、ON／OFFの切り替えを可能にする。
WEB APP OSバージョン管理	WEB APP OSのバージョンアップがあった場合にWEB APP OSのバージョンをアップデートする機能です。			▲	